

「新型コロナワクチン接種全般の現況報告」

高取町新型コロナワクチン接種について、町民の皆さまには、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますこと、改めて深くおわび申し上げます。

町議会では 100 条特別委員会を設置され、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる事象の実態と町幹部の関与について調査、検証されているところです。町は、引き続き真摯（しんし）に対応していきます。

また、不適切な事象の対象となった皆さまへの抗体検査、感染症検査を実施させていただいています。12 月 13 日現在約 2,700 人の皆さまにご協力いただきました。ご多忙にもかかわらず検査にご協力いただき、誠にありがとうございます。検査結果は、順次簡易書留で郵送しています。到着まで今しばらくお待ちください。

さらに、3 回目のワクチン接種には、今回の不適切な事象を肝に銘じて、町民の皆さまの安全、安心を最優先に取り組みます。

具体的には、実施体制を強化するため、組織改正を行い、新たに「新型コロナワクチン接種対策推進室」（12 月 10 日付け）を設置しました。併せて、再発防止への取り組みとして、医療職業と事務職業の役割分担の明確化、外部委託による専門的な人材の活用などにより、町民の皆さまに安心していただける接種に努めます。

接種スケジュールは、12 月から医療従事者、1 月から高齢者福祉施設の入所者や従事者、2 月からは 65 歳以上の皆さま（2 回目接種後 8 か月経過）への接種を予定しています。接種時期が来ましたら、接種券、予診票、接種案内をお送りします。

高取町長 中川 裕介

新型コロナワクチン接種全般の現況を報告させていただきます。

1. 1 回目、2 回目のワクチン接種（集団接種・個別接種）の状況

12 歳になられた方を中心に、町内の医療機関において個別接種を行っています。接種券が届いた方は、新型コロナワクチン予約専用ダイヤル（0744-48-0780）で予約をお願いします。

新型コロナワクチンの接種状況

（12 月 12 日現在）

・ 1 回目…5,356 人、89.09% 2 回目…5,329 人、88.64%

2. 不適切なワクチン接種事案の概要と検査状況

(検査済み者数は12月13日現在)

今般の事案発生は、新型コロナワクチン接種に関する危機感の欠如が原因と考えます。初めて経験する新型コロナワクチン接種を進めるに当たっては、事故はいつでも誰にでも起こり得るという危機意識を常に持ちながら業務を遂行する必要があります。

また、安全確保の基本は確認と再確認にあり、ダブルチェックを常に原則とし、不確実な知識のままの対応や不十分な情報確認、既定のルールの不履行がないか常にチェックすることが求められます。

そのため、コミュニケーションの重要性は言うまでもなく、従事者間のコミュニケーションは常に円滑、密接であることが要求されます。誰でも自由に発言や報告ができる環境が安全の醸成につながることを認識し、これらの発言や報告を集積、分析、検討し、現場にフィードバックすることで、事故防止につなげる取り組みが重要と考えます。

①接種日（5月7日～6月15日）

[対象者 115人 抗体検査 検査済み者 109人]

町内特別養護老人ホームでのワクチン接種において、町内医療機関が冷蔵保存すべきところを冷凍庫で保管したワクチンを施設入所者及び職員に接種しました。

②接種日（6月13日）

[対象者 94人 抗体検査 検査済み者 90人]

地域交流スペースいくせいで実施した本町の集団接種において、町内医療機関が冷蔵保存すべきところを冷凍庫で保管したワクチンを接種しました。

③接種日（7月11日）

[対象者 59人 感染症検査、抗体検査 検査済み者 54人]

保健センターで実施した集団接種において、注射器だけが1本余る事案が発生しました。

保健師から針刺し事故（二度打ち）の可能性について報告を受けていましたが、接種せずに帰宅した人がいると判断し、対象者への連絡もしないまま公表していませんでした。

④接種日（7月18日）

[対象者 264人 抗体検査 検査済み者 245人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑤接種日（7月21日）

[対象者 306人 抗体検査 検査済み者 291人]

リベルテホールで実施した集団接種で、冷蔵保存すべきところを、一時的に冷凍庫で保管した後、冷蔵庫で保管したワクチンを接種しました。

⑥接種日（7月25日）

[対象者 623人 抗体検査 検査済み者 565人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑦接種日（7月28日）

[対象者 306人 抗体検査 検査済み者 282人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑧接種日（8月1日）

[対象者 40人(53人) 感染症検査、抗体検査 検査済み者 36人]

リベルテホールで実施した集団接種で、接種済みシールが2枚足りない事案が発生しました。使用した注射器の数、接種者数、回収した予診票の数が一致していたため、接種は適正に行われたものと判断しましたが、シールが不足した原因が特定されないことから、針刺し事故（二度打ち）の可能性もあると判断しました。

⑨接種日（8月1日）

[対象者 549人(593人) 抗体検査 検査済み者 486人]

リベルテホールで実施した本町の集団接種で使用したワクチンのうち、1バイアル(6人分)がリベルテホールの家庭用冷蔵庫で7月27日から保存していたワクチンであることが判明しました。残りのワクチンは、当日保健センターから移送しましたが、そのワクチンを接種した対象者が特定できませんでした。保存していたリベルテホールの家庭用冷蔵庫の温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内(2℃～8℃)と確認できないワクチンを接種しました。

⑩接種日（8月4日）

[対象者 264人 抗体検査 検査済み者 204人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑪接種日（8月8日）

[対象者 0人(264人) 抗体検査 検査済み者 -人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑫接種日（8月11日）

[対象者 5人(306人) 抗体検査 検査済み者 3人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑬接種日（8月15日）

[対象者 245人(659人) 抗体検査 検査済み者 201人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑭接種日（8月18日）

[対象者 180人(251人) 抗体検査 検査済み者 136人]

リベルテホールで実施した集団接種で、当日保健センターから移送したワクチンをいったんリベルテホールの家庭用冷蔵庫で保管しましたが、温度管理記録が不備なため、その冷蔵温度が基準内（冷蔵2～8℃）と確認できないワクチンを接種しました。

⑮接種日（9月15日 9月22日）

[対象者 34人 抗体検査 検査済み者 34人]

町内医療機関で実施した個別接種で、町内医療機関が冷蔵保存すべきところを、冷凍庫で保管したワクチンを接種しました。

※合計

（検査済み者数は12月13日現在）

[対象者実数 3,084人（対象者数 4,191人）

うち感染症検査：検査済み者 90人、抗体検査：検査済み者 2,736人]

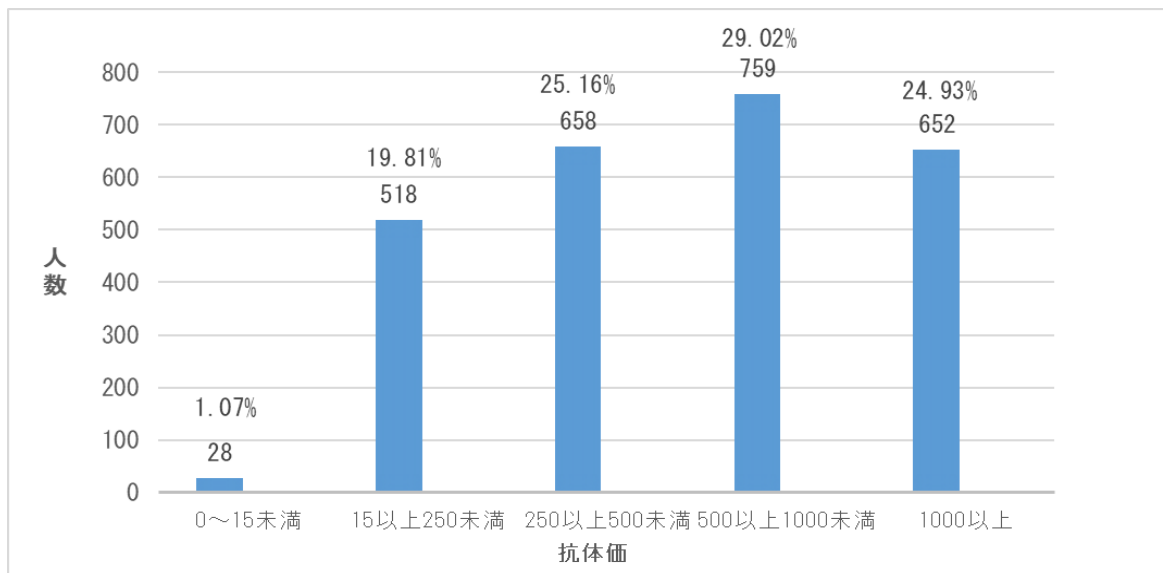
※原因別内訳

・針刺し事故の可能性	：対象者数	99人（3.2%）
・再冷凍ワクチン接種	：対象者数	549人（17.8%）
・温度記録不備ワクチン接種	：対象者数	2,436人（79.0%）
（合計）	：対象者数	3,084人（100.0%）

3. 抗体検査結果の概要

再冷凍ワクチンや温度管理記録の不備なワクチン、このような不適切なワクチンを接種された皆さまに受診いただいた抗体検査の結果を、速報値として町のホームページに公表しています。

【実施検査内容】



合計 2,615 人[速報値 令和 3 年 12 月 8 日検査分まで]

ロシュ・ダイアグノスティックス社 Sタンパク中和抗体検査

抗体価は、年齢や基礎疾患、内服薬等により個人差が大きく、今のところ、感染するかしないかなどの基準はありません。なお、ウイルスの感染を防ぐとされる中和抗体は、既感染者の場合、抗体価が 15U/mL 以上で獲得するとロシュ社が報告しており、和歌山県も公表しています。

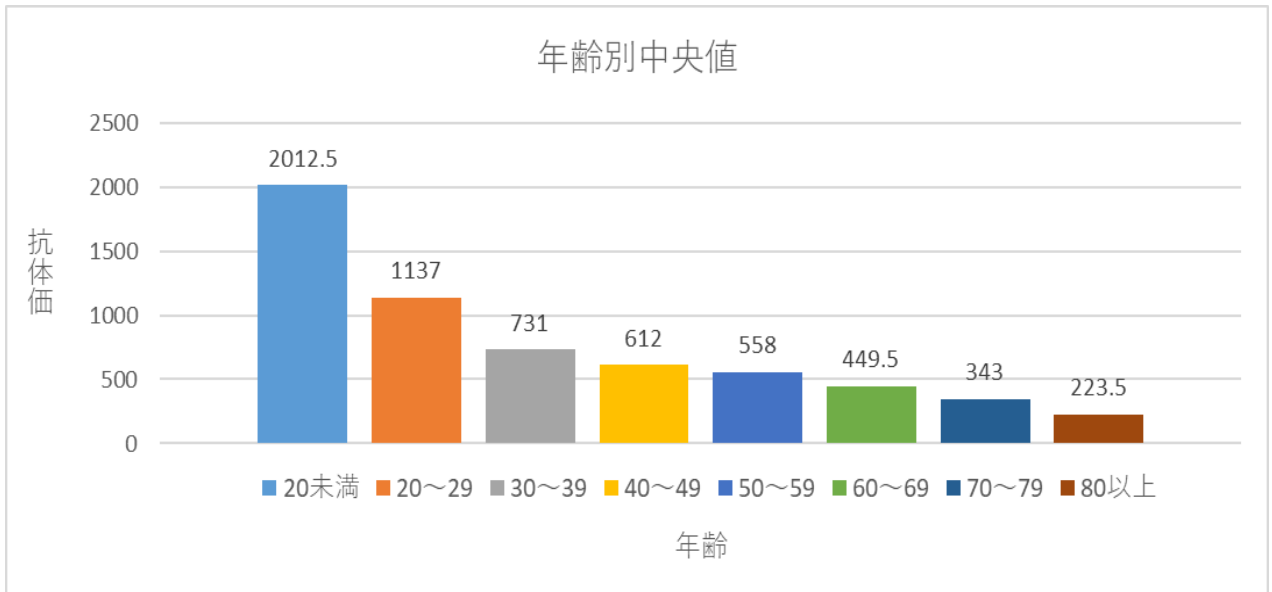
本町もこの数値を目安として、独自の抗体価の基準としました。12月8日現在の速報値（2,615人の結果による。）では、500~1000U/mL が29%と最も多く、250~500U/mL 25%、1000U/mL 以上 25%、15~250U/mL 20%、15U/mL 未満 1%となっています。

なお、15U/mL 未満の方に対し、医師と相談していただき、希望される方に再度接種をすることと定め、対象の方には個別に連絡させていただいています。

引き続き、抗体検査結果状況の速報値をホームページで公表します。

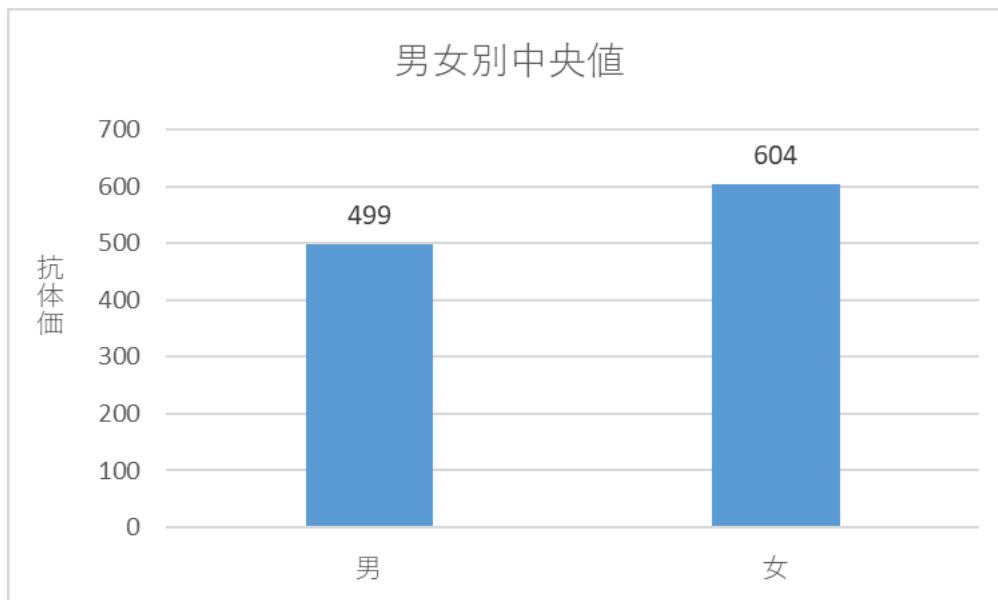
【年齢別中央値】

中央値とは数値を大きき順に並べたとき真ん中にくる数値



年齢別では20歳未満が2012.5、20~29歳が1137、30~39歳が731、40~49歳が612、50~59歳が558、60~69歳が449.5、70~79歳が343、80歳以上が223.5となっており、年齢が若いほど高い傾向にあります。

【男女別中央値】



(男性 1,241 人、女性 1,374 人)

男性が499、女性が604となっており、女性の方が高い傾向にあります。